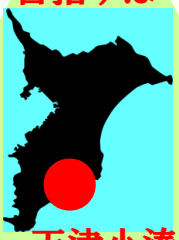
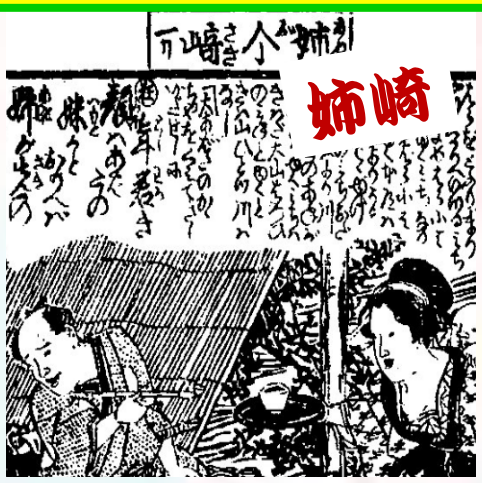
十返舎一九が房総にやってきた！

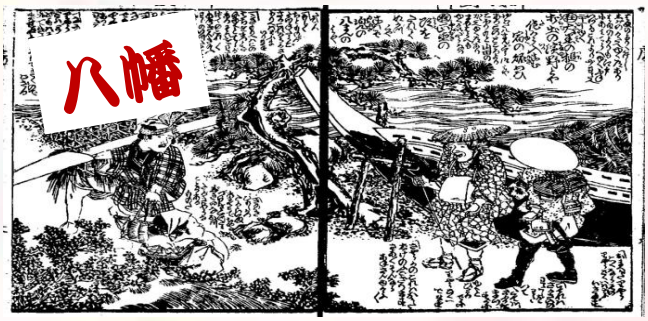
～ 十返舎一九「小湊参詣房総往来道順略記」からみた江戸時代のツーリズム ～

目指すは



天津小湊
誕生寺
しかし・・・
・・・・・





十返舎一九と言えば誰でも弥次さん北さんの『東海道膝栗毛』をイメージしますが、『方言修行金草鞋』(むだしゅぎょうかねのわらじ)の第十七編『小湊参詣房総往来道順略記』についてはあまり知られていません。

十返舎一九（1765～1831年）絵師、戯作者

小湊参詣は現在の天津小湊にある日蓮聖人生誕の地である誕生寺にお参りに行くことを指します。江戸時代の旅は制限もあったのですが、例外的に商用や信仰目的の旅は許可されていたため、近場の小湊は絶好の参詣地となりました。庶民は小湊参詣を大義名分に、大いに物見遊山を楽しんだ様子がうかがえます。

今回のお話はこの小湊参詣を通じて**江戸時代の庶民の旅**に焦点を当てるとともに、絵草紙を手がかりに場所を特定し、**江戸時代の房総一周旅行の道筋を再現**したいと思います。

特に、地元の**八幡・五井・姉崎**の段については、**一九らしい「膝栗毛」**を紹介したいと思います。

清和大学　特任教授

講師　**小関 勇次 氏**　(今津朝山在住)

地域の生涯学習講座

2024(令和6)年6月

7月の青葉大学(361回) 講座内容のご案内

★ 日時：７月１３日（土） 13:30 ～ 15:00
★ 場所：青葉台自治会館

学長のことば　老若男女もう一度、おおらかに「多様な価値観」を学びあい、支え合っていきましょう！

☆　受講料　・200円　学生　半期　・1,000円

☆　お問合せ先　中谷（090-2441-1886）